



## プロジェクト名称

## 富浦プロジェクト

## プロジェクト活動概要

本学協定先の南房総市富浦地区において市の協力を得ながら行っている再生プロジェクト。二地域居住推進を目標とし地域活性化を目指す。発足当初は地域との繋がりが無いなか海岸の清掃から始まり、ベンチの制作や竹灯籠祭などの開催を通じ、地域との繋がりを形成してきた。今年度は発足して5年目となり、今までの実績を更に養い団体として活動を拡充させていきたい。

※報告書は全部で5ページ以内になるようにおさめてください※

## プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① フォトコンテストの投稿作品 100 作品以上を目指し、当該地域の知名度向上、地元住民と観光客や訪問者の交流促進を図り、地域活性化に繋げる。
- ② 現地で行うワークショップ、竹灯籠祭などの企画において来場者は約 200 人以上を狙う。
- ③ オンライン、オフラインを併用した活動、広報活動を行い今までのノウハウを活かし、Instagram の投稿数を昨年の 2 倍、最大の投稿インサイトは 1500 を目指し地域密着型の学生プロジェクトであることのアピールから現地コミュニティの拡大を図る。

発足当初の学年からの世代交代があったため、コロナ禍前に構築した関係を再構築する段階から再スタートするところから始まった。企画の立案までは依然と比べて挨拶巡りを兼ねるため時間は要しているが、立案から完了までを行う予定のベンチ制作は、無事に終了した。新たな企画へのリサーチも始まったためきちんとステップを踏んでいきたい。

## SDGs への取り組み

## 《SDGs との関連項目》

申請書で選択した SDG 関連項目を表示し、関連しない項目は削除してください（複数ある場合、全て表示。）





夏から取り組んでいた、原岡海岸でのベンチの作成は無事に終了した。

## 活動状況報告&活動写真 活動期間：2023年3月1日～2023年5月21日

新しい企画として、現地で開催できる催しを考案したが今回はその開催場所のサーチとヒアリングを行った。

訪問場所のsPARKは館山駅目の前にある施設で、雑居ビルをリノベーションしてつくられた。レンタルスペースがあり、お店の出店の他、展示ブース等の貸し出しも行っていた。

1Fはオープンスペースになっており誰でも入りやすいような環境で、入り口前にはキャンプファイヤーができるように木組みのセットと広いスペースが用意されていた。地域の観光広告も数多く置かれており、レジャーで訪れた方にとって情報が得やすい場所だと思う。

席数は限られるもののテレワーク用のスペースも構えており、そのような需要も見られた。

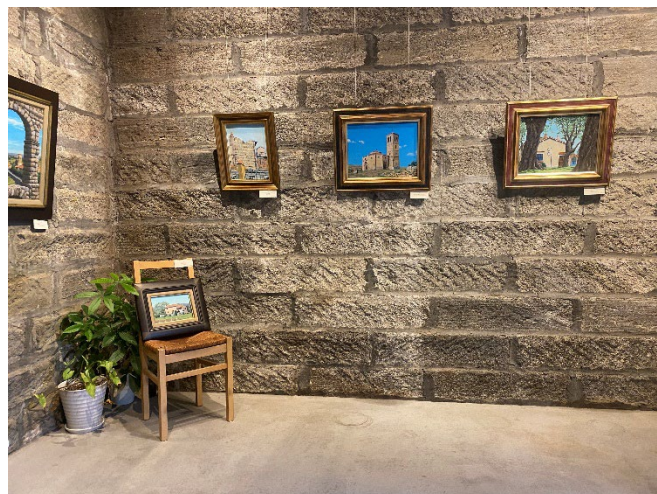


次に船形倉庫に訪問して、話を伺った。

船形の石造り倉庫コンバージョンをしたカフェ。

もともと船や、その関連道具を保存していた倉庫だった。沿岸部のため台風の被害は受けやすい場所に立地しており、地域周辺も甚大な被害があったそうだが、倉庫自体の被害は奇跡的に少なく丈夫に保ってきた。2011年の東日本大震災で、地域復興が各地で急がれた中、館山も地域復興を兼ねて船形倉庫のリノベーションが行われ、このカフェが誕生したそうだ。

地域に開いたイベントなども開催しているそうで、我々の提案を会話の中で交えながら店主の話を伺うことができた。



### 成果まとめ、今後の活動計画など

一つではあるが企画を実行から完了まできちんと終了できたのは大きな収穫だった。ヒアリングしていく中で柔軟な対応をしてくださるオーナー様方に、我々の提案を交えた会話をすることができたので企画段階としては程よい成果があったのではないかと思う。

実行の段階に関しは今後、さらに明確化していきたいと考えている。

2022年度

# 学生プロジェクト活動状況報告書

5月号



2022年度

# 学生プロジェクト活動状況報告書

5月号

